

JCI NEWS

新春号

Vol.796



第73年度 種田丸、出航

一般社団法人長崎青年会議所

2025年1月10日 発刊

目次

理事長挨拶

OB会 会長挨拶

理事役員挨拶

各室挨拶

長崎JC紹介

神戸定例会議

12月例会

12月定時総会

卒業生を送る夕べ

長崎JCを深堀る！

Nagasaki Xmas stroll ~in Foreign Settlement~

一般社団法人長崎青年会議所
理事長 新年のご挨拶



第73年度理事長
種田 和彦

新年明けましておめでとうございます。

2025年度一般社団法人長崎青年会議所の理事長を務めます、種田和彦でございます。平素より市民の皆様、行政、企業、各種団体の皆様方におかれましては、長崎青年会議所の活動に対しまして並々ならぬご支援、ご協力を賜っておりますこと厚く御礼申し上げます。

今年度は「報恩謝徳（ほうおんしゃとく）
敬意と感謝を胸に」をスローガンに掲げ、運動を展開して参ります。

運動を最大化するために最も重要なものは、ひととの繋がりに他なりません。個人がどれだけ精力を注ぎこんだとしても、ひととひととが繋がりが合って協力し合わないことには、その効果を発揮することができません。

報恩謝徳

JUNIOR CHAMBER
INTERNATIONAL
NAGASAKI 2025

敬意と感謝を胸に

社会に希望をもたらず変革の起点となるためには、その与えられた機会やひとに敬意と感謝の気持ちを示し、実直に取り組むことが何より大切です。そうすることで、まちと自分自身の未来が大きく変わっていきます。敬意と感謝の気持ちを持つという、極めて当たり前のことが置き去りになってしまったとき、その活動姿勢は単なる義務感からくる空虚なものとなってしまい、互いの繋がりも薄れ、長崎青年会議所の活動は止まってしまいます。

これまで72年間、先輩から後輩へと伝承され引き継がれてきたものを次世代へ繋ぐため、幾多の苦難や困難こそ成長の機会と捉え、笑顔あふれる明るい未来に向けて前進していきます。

2025年が皆様にとりまして素晴らしい年となることを御祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。今年も宜しくお願い申し上げます。

第73年度理事長 種田 和彦

OB会会長 新年のご挨拶



長崎青年会議所 OB会会長

殿村 育生 先輩

謹んで新春のお慶びを申し上げます。乙巳（きのと・み）年を迎えました。

今年の乙巳年の乙は、昨年の甲辰（きのえ・たつ）年で、出た芽が外界の抵抗もあり、真つすぐ伸びない状況とも言われます。勇敢に進む年。新しいことを進めるため、改革創造に努力する年とも言われます。

今、働き方も社会のありさまも、全てが目まぐるしく変化しています。種田理事長、それぞれの年度のCD（社会開発）、LD（指導力開発）にリスペクト（大切に思うこと）の気持ちをお忘れなことを会員と共有して下さい。事業には、勇気をもって今の時代に合うよう新風を吹き込んで下さい。

「稽古創新」とは、「稽古（過去のできごとや先人の教えを調べ学び考えること）・創新（時代認識をもって新たな取り組みをつくり出すこと）」とも解釈されます。若い力でチャレンジして下さい。

昨年度、田添理事長は「令和6年能登半島地震」への復興支援の為の街頭募金を日本赤十字社に寄附。

神戸JC・長崎JC友好盟約締結60周年記念式典など、また山口直前理事長は、長崎ブロック協会会長として尽力。お二人のご活躍に感謝申し上げます。

今年も宜しくお願い致します。

OB会会長 殿村 育生

理事役員挨拶

直前理事長 田添 太一



第72度では皆様に大変お世話になり、誠にありがとうございました。私もいよいよラストイヤーとなり少し寂しい気持ちが始生え始めていますが、ここまで成長させていただいた長崎JCに感謝の気持ちをもって、最後の最後まで組織を支えていきたいと思っています。1年間よろしくお願ひします。

地域室担当 副理事長 國枝 政晃



第73年度の地域室を担当させていただきます副理事長の國枝です。長崎JCの古株となってしまいましたが、今まで先輩方から教わったことを少しでも後輩たちに残せる1年間にしたいと思います。室長・委員長、そして委員会メンバーと個性豊かな面々が多いので獅子奮迅の勢いで駆け抜けさせていただきます。

未来室担当 副理事長 松本 考功



皆様、明けましておめでとうございます。第73年度未来室担当副理事長の松本考功と申します。今年度、未来室は青少年育成委員会を設け、子どもたちが多くの経験を得られるよう、新年からフル稼働していき、一人でも多くの子どもの笑顔を見れるよう頑張っていきます！

拡大室担当 副理事長 池田 裕介



拡大室担当副理事長の池田です。目標と言わず必達と書かせていただきたいのが種田理事長の掲げる会員拡大目標35名です。しかしながらこの目標は一部の会員だけでは実現困難です。会員全員を巻き込んで会員拡大に努めて参ります。

理事役員挨拶



会務室担当
副理事長 **大平 大樹**

第73年度会務室担当副理事長の職をお預かりします。委員長にJCをやる目的をしっかりと持っていただき、楽しくJCができるようにサポートしていきます。キャリアもベテランと言われるようになっていきますので、次代を担うメンバーの育成にも力を注いでいきます。1年間よろしくお願ひします。



伝播室担当
副理事長 **小川 清貴**

第73年度伝播室担当副理事長の職をお預かり致しました、小川清貴と申します。私はJC活動・運動をとおして大事にしていることがあります。信念を持って取り組むことです。私の信念は「想い」です。「想い」は誰にも負けません。第73年度も種田理事長の下で「想い」を絶やさずに何事にも取り組んでいければと思っております。どうぞ1年間、宜しくお願ひ致します。



専務理事 **寺澤 孝憲**

この度、専務理事の役職をお預かりすることとなりました寺澤です。会員として経験不足な面があり不安だらけではありますが、1年間種田理事長を全力でお支えすること、長崎青年会議所を盛り上げることを粉骨砕身で頑張りますので、ご支援ご指導宜しくお願ひ致します。

理事役員挨拶



顧問 山口 知宏

JCライフ13年目に突入、理事長からAPDCに至るまであらゆる経験を積ませていただきました。会員拡大、広報、まちづくりあらゆるノウハウをLOMに還元できればと思っています。新しい顔ぶれの理事の皆さんに大変期待しています。どうぞよろしくお願いいたします。



監事 西岡 英樹

第73年度の監事を務めることになりました西岡英樹です。1年間どうぞよろしくお願い致します。私がこれまで先輩たちから教えていただいた知識やこれまでにJCで経験した成功や失敗で学んだことを伝え、少しでも皆様の成長につながるように活動して参ります。



外部監事 峰 昇平

新年おめでとうございます。
2025年度外部監事として長崎青年会議所に出戻りとなりました。種田理事長が掲げるスローガン「報恩謝徳」にもあるように私自身も諸先輩方から多くの恩を受け、徳を積むことができました。その感謝を「最後の恩送り」として後輩達に引き継ぐ1年にできればと思っております。

各室挨拶



地域室長 **佐藤 峻**

地域室長を務めさせていただきます佐藤峻です。1年間よろしく申し上げます。市民の皆様には長崎の魅力幅広く発信し、地元への関心をより一層高めることで、郷土愛を育む方々を増やしていけるよう、國枝副理事長や野村委員長と共に、地域に根差した事業を進めて参ります。



未来室長 **濱崎 賢司朗**

第73年度未来室長を務めます濱崎です。最初は荷が重いと感じお断りしましたが、昨年度の経験からさらなる成長を求め、松本副理事長からの再度のご依頼をお受けしました。長尾委員長を支え、未来室の活動に全力で取り組みます。1年間、どうぞよろしく願いいたします。



拡大室長 **関 勝太郎**

新年明けましておめでとうございます。第73年度が始まり期待とワクワクの中スタートしました。今年最後の卒業年度になり、お世話になった長崎JCに恩返しできるのは、拡大活動を最大限に行い、多くの会員を残すことが私の使命だと思います。目標に向かって邁進して参ります。



会務室長 **前田 祐太郎**

会務室は2委員会を担当し、様々な事業を行うこととなります。自分自身にとっても大変な1年になると思いますが、精一杯いただいた役職を全うしたいと思っております。多くの方にご参加いただけるような事業を行いますので、交流委員会と例会委員会にご期待下さい。1年宜しく申し上げます。

各室挨拶



伝播室長 桑原 亮

昨年からフルスロットルで第73年度を迎えました。伝播室は渉外広報委員会として渉外と広報を担当します。対外事業での学びのサポートに加え、今年度は長崎JCの活動・運動をより多くの方に知っていただくべく様々な手段で情報発信して参ります。ご協力お願い致します！



総務室長 当麻 葵

これまで交流系の委員会しか経験がなかった私が、第73年度は初めて総務を経験させていただくことになりました。会員の皆様が安心してJC活動・運動ができるよう、総務室一丸となって下支えして参りますのでどうぞ宜しくお願いします。永江委員長と一緒に総務室を盛り上げていきたいと思ひます。



常務理事 松尾 一 要

第73年度常務理事の職をお預かりすることになりました松尾一要和申します。種田理事長、寺澤専務理事を事務局とともに、誠心誠意サポートして参りたいと思ひます。多くの学びを社業に生かし、支えてくれている人への感謝を忘れずに活動に邁進していきます。

各室挨拶



まちづくり委員長 野村 耀平

第73年度まちづくり委員会委員長の野村耀平です。私達を含め長崎に愛着を持つ方々が自ら長崎の魅力を誰かに伝えたくなり、長崎に住むことをもっと誇れるようになる事業をつくりあげます！委員会メンバーにも出会で自身の可能性を広げてもらえるよう全力前進します！



青少年育成委員長 長尾 優輝

青少年育成委員会委員長の長尾です！長崎に住む子どもたち一人ひとりが自信を持ち、未来に向かって力強く進んでいけるような青少年事業を実施いたします。「地域とともに育つ未来のリーダーたち」をテーマに、1年間悔いのないよう全力で取り組みます！



会員拡大委員長 溝上 雄斗

想いが人一倍強い熱い男でおなじみの溝上です。「全員拡大」のために新たな仕組みを構築し、新しい仲間を多く募ることができるよう1年間頑張ります！先輩方が大切に紡いできた長崎JCの想いの火を絶やすことなく皆で大きな炎となりましょう！



交流委員長 野口 将司

第73年度交流委員会委員長の野口将司です！交流委員会は正会員同士および特別会員の皆様との活発な交流ができるよう、全力で各種事業に取り組んで参ります。交流こそ、JCの原動力！1年間よろしくお願ひします！

各室挨拶



例会委員長 熊谷 将希

第73年度例会委員会委員長の熊谷将希です。「やるなら100%で！」をモットーに、経験を活かし、委員会メンバーとともに、より良い例会運営を目指します。全力の取り組みが、私たちの成長と成果につながると信じています。よろしくお願いいたします。



渉外広報委員長 深堀 和政

第73年度渉外広報委員長の職をお預かり致しました、深堀和政と申します。常にポジティブに、苦勞を楽しめる人間でありたいと私は思います。そのためにも何事にも積極的に精一杯取り組んでいきます。皆で最高に楽しい1年だったと思える委員会にしていきましょう。宜しく申し上げます。



総務委員長 永江 圭介

新年あけましておめでとうございます。総務委員会は皆様の活動・運動を円滑に行えるよう活動して参ります。既に予定者段階よりエンジン全開で取り組んでおりますが、息切れすることのないよう2025年を駆け抜けていきます！1年間宜しくお願い致します！



事務局長 小林 雄太

第73年度事務局長の職をお預かり致しました、小林雄太です。「組織のサポートに徹した事務局運営」を基本方針とし、昨年度の事務局の経験を活かし円滑な組織運営ができるよう努めて参ります。1年間よろしくお願いいたします。

長崎JC紹介



長崎青年会議所は1952年12月に発足し「明るい豊かな社会」の構築を念頭に置いて、我々の郷土長崎のみならず、長崎県、九州、日本、そして世界に貢献できる様々な事業を展開して参りました。

「明るい豊かな社会」を目指す我々、長崎青年会議所は「修練」「奉仕」「友情」という三信条のもと、20歳から40歳の青年たちが次世代を担う地域のリーダーとなるべく、様々な研修やセミナーを重ねて、個人の資質を向上させ、地域社会に貢献できる人材の育成に努めております。

また、より良い長崎にするために奉仕の精神と郷土愛を胸に、活発な議論を交わし、知恵を出し合いながら「ひとづくり」、「まちづくり」のための様々な事業を展開しております。そのような事業を通じて共に汗をかき、達成感を共有できるかけがえのない仲間を作ることができることも魅力のひとつです。

この団体における青年とは希望に満ちた「明るい豊かな社会」の実現という志と使命感を持ち、自ら率先し行動することができる人を指します。実際に、青年会議所の活動を通して多くの学びや気づきを得て成長し、40歳を迎えて卒業した会員は様々なフィールドで活躍し続けています。

2025年度 神戸JC・長崎JC定例会議

2024年11月30日(土)、12月1日(日)、神戸の地にて
2025年度 神戸JC・長崎JC定例会議が開催されました。



[1日目]

ランチ交流会では各委員会・事務局ごとに分かれ、互いに自己紹介とまちの魅力について話し合い、全体で発表を行い親睦を深めました。



定例会議では、2024年度の事業報告と2025年度事業計画を報告し合い、神戸JC・長崎JC紹介動画を放映し盛り上がりを見せました。



『神戸だけは大事にしてくれよ』『長崎だけは特別やから』

2025年度 神戸JC・長崎JC定例会議



懇親会では、神戸ならではの食事でおもてなしを受け、さらに出し物やゲーム、お土産コーナーもご準備いただきました。気に入ったお土産を神戸JCの方が購入してくれるといったサービスもありました。懇親会後は、担いが類似する委員会同士でマッチングを行い、個々に歓迎を受けた素晴らしい1日になりました。



2025年度 神戸JC・長崎JC定例会議



[2日目]

ランチ懇親会では、前夜を過ごしたマッチング委員会の委員長達が登壇し、昨晚のでき事やどのように親睦を深められたかを発表しました。

その発表中では、本当に昨日会ったばかりなのだろうかと疑うほど仲良くなった会員もあり、先輩方から代々受け継がれてきた『神戸と長崎は特別』という想いを強く感じる一面でした。長崎に帰る際にも、空港まで多くの神戸JCの皆様にお見送りをしていただき最後までおもてなしを受ける2日間となりました。この絆を絶やさず、より強固なものにしていきましょう。次回は神戸JCの皆様が長崎にお越しいただきますので、最大限におもてなしをしましょう。



渉外広報委員会 運営幹事 松尾 諒

12月例会



12月12日(木)、12月例会が開催されました。冒頭では田添理事長から1年間の振り返りと、正会員への感謝の想いをお話しいただきました。激動の1年間だったかと思いますが、「一日一生」の気持ちが正会員に伝わったと思います。その後、委員会報告と出向者報告があり、どの委員会も山あり谷ありの1年間だったかと思います。皆様大変お疲れ様でした。

例会アワーでは、関例会委員長最後のSHOWタイムがあり最後まで盛り上げていただきました。出席率報告では、今までの例会に休まず出席されたメンバーの発表が行われました。最後に、12月例会で72年度の例会が全て終了致しました。年間を通してご参加いただき誠にありがとうございました。

12月定時総会



本総会では、第1号議案：73年度事業計画(案)・第2号議案：第73年度収支予算(案)の議題が挙がりました。第1号議案は、各理事よりご説明があり、第73年度の各委員長が熱い想いで計画された内容を聞くことで、正会員の気持ちを1つにする機会となりました。第2号議案は、松尾常務理事よりご説明があり、皆様の会費が適切に使われているか、事業の費用対効果があるか考える機会となり、両議案が承認されました。

その後、プレジデンシャルリース伝達式が行われました。プレジデンシャルリースを身につけた種田理事長は、JCの歴史と責任の重みを感じておりました。様々な機会に感謝し、敬うことを大切にしながら、第73年度のJCを引っ張ると宣言しておられました。



卒業生を送る夕べ



2024年12月20日(金)に「卒業式及び卒業生を送る夕べ」が開催されました。2024年度は9名のお殿様と2名のお姫様が卒業されました。

田添理事長から一人ひとりに卒業証書が授与され、卒業生を代表して大濱委員長からの答辞では現役会員に向け熱いお言葉をいただきました。卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。今後のご活躍を応援しております。



卒業生を送る夕べ

立川常務理事の男泣きがありました。たった4年しかできなかった、もっといろいろな事をやればよかったという熱い思いとともに、会員に対する感謝の言葉がありました。



最後は皆で肩を組み「若い我ら」を熱唱しました。長い間、長崎JCを支えていただいたお殿様・お姫様へ感謝の気持ちが会場中に溢れていました。正会員の皆様も悔いの無いように残されたJC生活を「一日一生」の気持ちで、最後までやりき



り笑顔で卒業できるよう一日いちにちを大切に行動して参りましょう。

渉外広報委員会
委員長 深堀 和政

卒業生にインタビュー

- ①JC生活の中で一番の思い出
- ②JCをやっている良かったこと
- ③JC生活でやり残したこと

について答えていただきました。

鮎川 愛



① 初めてブロックの委員長をした時にブロック大会の事業。長崎JCのメンバーが沢山来てくれて本当に嬉しかった。

② 信頼できる仲間に出会えた。

③ 日本JC国際アカデミーに行ってみたかったです！現役生活はあっという間なので、迷ったら何でもやってみて下さい！

石橋 克明

① 拡大委員長。最期までやりきることで、自分が特に成長できた1年でした。

② 多くの方々と知り合えたこと。これからも大事にしたい素晴らしいご縁です。

③ 副理事長に機会があれば挑戦したかったです。皆様6年間ありがとうございました。



卒業生にインタビュー

- ① JCでしかできない経験と出会い、メンバーと共にできたことは、一生の思い出です。
- ②多くの個性や感性に触れ、良くも悪くも自分のレベルがわかった。その中で人生に奥行きを深められた良い経験です。
- ③ やり残した事はありません。

江崎 貴則



大濱 健太郎



- ①最後のフォローアップです。委員会メンバーの協力もあり、新入会員は最後まで準備を頑張ることで1つの事業を作り上げることができました。
- ②委員長を経験できたこと。より多くの方と交流、仲間、学びを得ることができました。
- ③もっと多くの役職を預かり、いろんな経験をしたかった。

卒業生にインタビュー

立川 元規



①72年度です！最高の事務局のメンバーと一緒に田添理事長のもと、大平専務理事のサポートすることができ最高の1年になりました。

②多くの人との新しい出逢い、仲良くなれるし、たくさん学びがあるところです！

③4年の在席でしたが、あと3年はJCに在籍したかった。

①たくさんの方との出会い、仲間が増えました。

②事業、セミナーなどをとおしての考え方や経験を得ることができました。

③4年で卒業ですが、先輩、同期に支えられてもらい今があります。皆様も最後に良かったと思ってほしいので、卒業まで頑張ってください。

田中 裕美



卒業生にインタビュー

西川 洋志



- ①サマコンの運営幹事です。当時の委員長と全く知らないEXIT風の漫才を雰囲気でしたこと。
- ②青年会議所でしか味わえない体験。1つひとつの事業が、地域、未来の子どもの為であり、受け継がれていく事は素晴らしい。
- ③委員長に挑戦。家庭環境もあり断念しましたが、メンバーと事業を構築する体験をしたかった。

- ①県内外の事業へ参加できたこと。一生の付き合いができると思える仲間との出会いに感謝。
- ②時間は有限。前のめりになる事の大切さを知れたこと。
- ③JC最低在籍期間2年でのあっという間の卒業。先輩後輩・同期生を見ていて、今となっては叶いませんが委員長を経験したかった。

野崎 剛



卒業生にインタビュー

古川 弘大



①福岡の全国大会、佐世保JC在籍時の新入会員研修です。

②様々な業種の方々と活動ができ人脈が広がったこと、いろんな価値観を吸収することができ成長できました。

③来年から委員会LINEなどJCからの連絡がなくなるのが寂しいです。

増山 昌吾

①ランタンやみなとまつりなど地域の子ども達の笑顔に触れたときです。

②JCに入っていなければ出会わなかった同期、先輩、後輩の仲間達です。

③転職を機に一度休会しましたが、一生付き合える仲間が増えるので、どんなに辛くてもやって欲しい。



卒業生にインタビュー

①朝9時から伊王島での第68年度10月例会・事業が開催し、各ポイントを巡るといふ楽しさもあり、委員会の団結力も高まりました。

②様々な事業に参加ができたことや、社業だけでは出会えなかった先輩や会員がJCというワードで繋がる組織は本当に凄いです。

③本当にやり残したことだらけです！自分の考えや行動力が伴っていないため、自分がしたかったことができなかつたと反省することばかりです。委員長はやってみたかった！

松田 一人



**11名のお殿様・お姫様、
ご卒業おめでとうございます。
これまでのご尽力に感謝すると
ともに、次なるステージでの
更なるご活躍を祈念致します。**

長崎JCを深堀る!!

JCの事業はどうやって生まれるの？メンバーは本番までどうしているの？そこにはどんなドラマが待っているの？そんな疑問を明らかにすべく、事業の裏側に渉外広報委員会が迫ります！

第1弾は、先月終えたばかりの2024年度まちづくり委員会事業「Nagasaki Xmas stroll ～in Foreign Settlement～」を深堀っていきます。

第73年度
渉外広報
委員長
ふかぼり
深堀です



★ 第72年度
まちづくり委員長
桑原 亮

「この事業をやろうと思ったきっかけは何ですか？」

昨年度のまちづくり委員会は「インバウンド」をテーマに、外国人観光客が長崎の魅力を感じることをとおして再訪・訪問意欲を高めていただくことを目標に1年間活動しました。

夏場には歴史・文化や自然、アクティビティを融合したアドベンチャーツーリズムにも挑戦していたので、違った形で長崎の観光資源の魅力を楽しみながら、より深く知っていただける事業を行いたいと考えていました。そんな中、長崎居留地歴史まちづくり協議会の方とお話

する機会があり、長崎の良さを凝縮したような居留地でも有名どころを観光して終わり、という方が多いと聞いたのが大きなきっかけです。せっかくの魅力を余すことなく感じてもらおうという想いで議案構築を始めました。



「事業に込めた裏テーマみたいなものはありましたか？
また事業に関わる人に何を感じて欲しかったですか？」

インバウンドの必要性はもちろん感じて欲しいですが、急にそこまで行くのは難しいとも思っていました。JC内にも外国人と接したことないメンバーがいたぐらいなので…。

まずは外国人観光客と接すること自体のハードルを下げて欲しい。そして彼らをもっと身近に感じることができたらと。これは1年を通じて変わらず持っていた想いです。今回の事業では外国人に触れる機会が少なかったですが、「ちょっと身近に感じた」など、アンケートで書いてくれた方もいたので、それは良かったのかなと思います。

「大変だったことは何ですか？」

動員にはかなり苦戦しました。昨年度全般ですが、対象が外国の方になるため言語の壁はもちろん、チラシ作成、告知、案内がこれまでのやり方ではなかなかうまくいかず…。これは本当に反省です。

正直この企画の一発目としてはふさわしくないです(笑)。今後、同じような事業の際にうまくいくよう、引継いでいきたいですね。

「事業構築の段階で印象的なエピソードは何ですか？」

この議案の前、途中でおくんち要素を盛り込んだ事業を取り下げることになり、かなり憔悴していました。ちょうど長崎くんちの時期で、気持ちに区切りをつけようと庭先回りを行ったところ、某副理事長に会い、事情を説明したら大爆笑されました(笑)

「委員長の思う、長崎JCのまちづくり委員会とは？」

長崎JCはこれまで、まち全体を巻き込んだ「JCにしかできない」事業を実施してきました。活動・運動の様子を市民の方から見ていただく機会でもあり、私達がどんな団体なのかを体現する重要な委員会だと思います。よく言いますが、やっぱり「花形」だと思いますね。その分責任も大きいですし、去年は悔しいことばかりでしたが…。

今年度の野村委員長は個性が強いので、ワールドを炸裂させ、今までにない新たなる可能性を見出し、事業をして欲しいなと思います。期待してます！

「最後に、1年間終えての感想をお願いします。」

この1年間は人生でもう二度とやりたくないぐらい大変でしたが、しばらく経って落ち着いてから振り返れば、「良い修練が積めた」と自信を持って言えるのかなと思います。貴重な経験を成長に繋がりたいと思います。最後に、支えて下さった西岡副理事長、土井室長、ついて来てくれた委員会メンバーのみんな、本当にありがとうございました！



ありがとうございました！
次回以降もお楽しみみに！

まちづくり委員会

「Nagasaki Xmas stroll ～in Foreign Settlement～」



アンケートのご協力を
宜しくお願い致します。



一般の方は
➡こちら



特別会員は
➡こちら



正会員は
➡こちら